

▽▲帆船「日本丸」で海洋教室を開催▲▽

船内体験を通じ船員職業の魅力を伝える

-後継者の確保・育成にむけて-

初日の朝 10 時、帆船日本丸に隣接する日本丸メモリアルパーク研修施設(訓練センター)内の教室に、参加する子どもたちが集合。「日本丸」の村田信船長と、主催者を代表して高宮成昭関東地方支部長があいさつをした後、2日間お世話になる「日本丸」の職員や看護師の皆さんの紹介が行われた。

開講式の後「船のおはなし」と題する講義を、関東地方支部の中山航志在籍専従執行部員および安蔵巧在籍専従執行部員が講師として行った。

講義は、船の種類や航海士・機関士の仕事内容を紹介・説明し、時折クイズを織り交ぜるなど、子どもたちが船に興味を持つよう工夫した結果、参加者は夢中で講義を受け、船はどうやって動くのか、船員は何人ぐらい乗船しているのかなどの質問が、積極的に出された。

昼食休憩の後「日本丸」へ移動し、初めて見る自分の背丈より大きな舵輪に目を輝かせ、バウスプリット渡り体験では最初は怖がっていた子どもたちも先端まで行くと笑顔でピースをしていた。

この日は「日本丸」の船内に宿泊するため、居室の準備や避難訓練の後、訓練センターでスタッフも含め、全で夕食を取った。

夕食後は、レクリエーションで輪投げやメモリアルパーク周辺の散策を楽しみ、日本丸船内のボンクにベッドメイクをして床についた。

2日目は、朝 6 時 30 分に起床。寝ぼけ眼をこすりながら甲板に集合し、日本丸の体操で体を起こした後、ヤシの実を使った甲板磨きを行った。子どもたちは普段やることのない清掃方法に戸惑いながらも大きな声を出し、一生懸命に甲板を磨いていた。

甲板潜掃を終わらせ、朝食を取り、居室の整理をした後は、村田船長の講話が行われた。この講話では、練習船での訓練内容や訪れた海外の船との交流など、船長の実体験を基に説明がなされた。ここでも子どもたちからは積極的に質問が出されていた。船長講話の後、ロープワークの一環で一人一つずつナポレオンマットを作成した後、昼食休憩を挟みながら、展帆訓練や真ちゅう磨き体験、結索訓練などを行った。

閉講式では、認定書の授与を行い、一人ひとりに記念品が手渡され、無事に一泊二日の海洋教室を終了した。

この2日間、親元を離れ、海洋教室に参加した子どもたちには、どれも初めての体験。みんなで協力し訓練などをやり終えた後には、達成感があふれた表情で、家族の迎えに笑顔で帰宅した。

「海員だより」